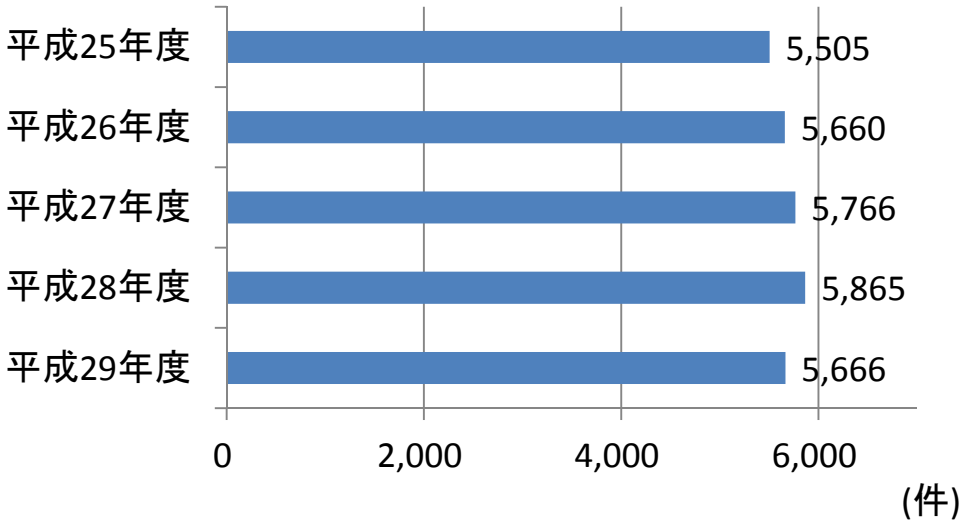




11 手術全身麻酔件数

解説	局所麻酔と全身麻酔では、手術件数としては同じですが、麻酔にかかわるスタッフへの負担が大きく異なります。 麻酔には手術部位の痛みを感じさせなくする局所麻酔と、患者を呼吸管理のもと無意識にして痛みを感じさせなくする全身麻酔があります。全身麻酔では、局所麻酔に比べて麻酔医や手術看護師などの負担は大きくなるので、その件数は手術部門の業務量を反映する指標となります。												
実績	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成25年度</td><td>5,505</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>5,660</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>5,766</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>5,865</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>5,666</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成25年度	5,505	平成26年度	5,660	平成27年度	5,766	平成28年度	5,865	平成29年度	5,666
年度	件数												
平成25年度	5,505												
平成26年度	5,660												
平成27年度	5,766												
平成28年度	5,865												
平成29年度	5,666												
定義	手術室における手術目的の全身麻酔の件数です。検査等における全身麻酔件数は除きます。 各大学間で集計方法が異なる可能性があるため、手術管理台帳ではなく医療行為に対する保険請求実績を元に集計を行っています。これにより、一部手術室以外で行われた手術目的の全身麻酔が件数に含まれている可能性があります。												